

平成22年5月7日

各位

岡山市原町内会

会長 須々木 壽志

原町内会防災訓練実施について

平成18年8月6日（日）に「防災倉庫の完成式並びに第1回目の防災訓練」を実施以来、はや4年が経過しようとしています。

世界各国において大地震や津波等により多数の死傷者や甚大な被害が発生しています。

日本国内においても各地で地震や水害などにより多くの被害が発生しています。

災害の少ない岡山ではありますが、防災関係者によれば近い将来には、東海・東南海地震が発生し、岡山にも甚大な被害が予測されているとのことです。

また、近年の温暖化により集中豪雨が多発するようになり、原地内でも年に何ヵ所かのがけ崩れなどが発生しており災害発生を他事としてはなりません

そこで、町内住民の防災意識向上と防災倉庫備品・資機材の使用法周知のために、このたび第2回防災訓練を別紙の通り実施するものです。

また、主体となる防災倉庫について、たまたま原町内に立地するものでありますが、万一有事の際は近隣町内に広く災害援助に役立てるべく、町内住民並びに関係する各方面に周知することを目的とします。

さらに、防災倉庫の備品等については定期的な点検を実施していますが、肝心の備蓄食料については賞味期限もありますので、このたびの訓練において実際に飲食に供し、これを更新します。

町内会各位および関係諸団体の皆様には防災訓練の趣旨を十分ご理解いただき積極的なご参加をお願いいたします。